

「詩情豊かな

皆さんも詩を味わって



桜の咲く前橋公園の風情は昔も今も変わらずに

大きく広がる

ボランティア

文学館の活動を支えるため、ボランティアで活躍している人たちのグループ「前橋文学館友の会」があります。設立は文学館がオープンした三年後の平成七年七月。現在の会員数は二百二十五人です。

主な活動は常設展示の解説ボランティア、その養成講座、詩作のための講座、詩碑巡りの講師、詩碑の清掃などなど。多様な活動を展開しています。

友の会が活発に取り組むことで、他の文学サークルにもさまざまな影響を与えながら、市民

の皆さんの文化活動が大きながりをみせています。

あなたも詩に

触れてみませんか

春の到来ももつづく。前橋公園には朔太郎が生きた時代と同じように、桜が咲き誇ります。市内には詩人や文学者たちのゆかりの場所がいっぱいです。広瀬川河畔の詩碑を見ながらの散歩、敷島公園まで足を延ばし朔太郎記念館や点在する詩碑を訪れるのもお勧め。前橋刑務所や利根川沿いにも詩情あふれる場所があります。この風土に身を包まれると、郷土の詩にあなたの心も共鳴するでしょう。

市民編集委員を終えて

昨年一月十五日号から本紙に毎月一回二ページを担当し、企画・取材・編集してきた市民編集委員の皆さん。今号で任期を終えることになりました。これまでの活動を振り返りその感想を紹介します。

大崎優子

縁あってこのような機会に恵まれ、実のある任期を過ごさせていただきました。いろいろな所へ出向き、多くの人たちに会って、たくさんのお話を聞きました。世の中の動きを感じたり、

ある人生の「コマ」を垣間見たり。なかなか得難い体験です。皆さんも参加してはいかがですか。

岡村善枝

広報紙の役割や制限を学びながら、分かったことは自分に関

心の高いことや興味のあることでない、表面的な記事になってしまつたということでした。編集委員それぞれの企画が、形になつていくことがとても楽しみでした。このページに賛同し、新たに編集委員となる皆さんへ次々とバトンが渡ることを期待しています。

柿本理香

市の担当者の話が生で聞ける取材はとても楽しみでした。市民として知りたいこと、疑問に思うことを投げ掛けたつもり

寺沢隆政

一市民として広報紙の企画・

取材・編集に携わることができ、光栄に感じています。取材ではいろいろな職場を見ることができて、まるで社会学の授業のようでもありました。わたしたちの暮らしは、さまざまな人たち

によって成り立っていることをあらためて実感。ありがとうございました。

三輪明

市民の視点から、これまで行政が取り上げづらかったことを特集できればと考え、日ごろから感じていること、興味があることを企画、取材しました。他の委員さんのいろいろな意見も聞くことができ、市についての知識も広がりました。とても有意義な紙面づくりだったと思っています。